

関西本線活性化利用促進三重県会議 結果概要

1 日時 令和7年8月18日(月)16:00~16:40

2 場所 三重県庁プレゼンテーションルーム

3 出席者 会長:三重県一見知事

委員:亀山市 櫻井市長、伊賀市 稲森市長、

JR西日本 高須 理事近畿統括本部阪奈支社長

4 議題 (1)関西本線の現状と取組について

(2)今後の取組について

5 結果

(1)関西本線の現状と取組について(公開)

(JR 西日本からの報告)

・関西本線に関する現状と課題、活性化に向けた取組の方向性について説明。

(事務局からの報告)

・令和6年度に実施した実証運行の結果概要について説明。

(三重県からの報告)

・令和6年度に実施した主な取組と令和7年度の取組の方向性について説明。

(亀山市からの報告)

・イベント事業や駅舎を活用した地域の活性化等について説明

(伊賀市からの報告)

・二次交通の充実に向けた実証結果や通学定期券の購入補助等について説明。

(出席者からの意見)

・関西本線の沿線地域活性化のために、移動需要の確保と観光需要の創出、この両輪で議論を進めたい。

・沿線には隧道、橋梁などの鉄道資産がたくさん残されている。

これら鉄道資産を活用した様々な取組が、この関西本線活性化の取組に厚みを持たせ、鉄道の魅力を見つめ直すきっかけになる。

・実証実験を通じ、市民の皆さんにもお迎えをするという機運ができてきたと感じている。

この機運を絶やすことなく、住民の皆さん、沿線自治体、県と一緒に取り組んでいきたい。

・観光需要策に加え、定期券利用者など、日常利用される方を多く増やしていくことも大事。決意を新たにす会議にしたい。

(2)今後の取組について(非公開)

・4者において、以下2つの事項を進めていくことで合意したことを確認。

1 「関西方面からの誘客・利用促進」による沿線活性化

2 JR 関西本線の維持・活性化に関する議論

(合意事項の詳細は別紙の通り)